

## 夏休み前アセンブリ

7月20日(木)に体育館で夏休み前のアセンブリが行われました。そこで、西垣内郁久校長からの挨拶を一部抜粋してご紹介します。



一つ目は、当たり前のことを当たり前にするということは、実はとても難しいことであり大切であるということです。元メジャーリーガーのイチローさんの名言の一つ『**小さなことを重ねることが、とんでもない所に行くただ一つの道**』とあるように、10分の素振りでも毎日続けることで次に繋がるのです。4月のはじめにお伝えした、**挨拶をする、時間を守って行動する、自分からゴミを拾う、想像力を発揮しながら行動する、持続力を身につける**、これらの5つの中から1つや2つでも当たり前になることが将来に繋がるので、継続して実行できるように心掛けながら、日々の生活を送っていただけたらと思います。

二つ目は、夏場のマスク着用についてです。新型コロナウイルスが第5類に位置づけられ、マスクの着用は引き続き個人の判断に任されていますが、暑い中では**熱中症**の危険度も増しますので、**こまめに水分補給をとるなど**して気をつけていきましょう。また、コロナも第9波に入ったり、季節性インフルエンザの患者も見られたりとまだまだ油断はできないので、換気や手指消毒、健康観察など一定の感染症対策も引き続き行っていきたいです。

三つ目は、先日アマゾンジャパンのバイスプレジデントとして活躍された渡辺一文さんの講演を聴く機会がありました。その中でも『これからは多様性が求められる時代だ』という言葉が特に印象に残り、多様性が高まることで現れる進化や進歩の障壁を**従来にない方法**によって突破することで、成功を収めることに繋がるのだとおっしゃっていました。ものすごいスピードで変化していく世界の中で、皆さんにもできるだけ早く将来に向けての人生設計を考え始めてもらうとともに、絶えず**世界情勢、日本経済、地域の状況**等を的確に捉え、**進むべき方向性を判断していく能力**を身につけてもらいたいと思います。

最後に、長い夏休みに入りますが、事故やけがの無いよう十分気をつけて過ごしていただきたいと思います。そして、何かトラブルが発生したときは、自分だけで解決しようとせず、必ず保護者や学校などに相談してください。それでは、充実した夏休みをお過ごしください。

## 第24回高校生国際美術展

第24回高校生国際美術展 美術の部にて、本校3年坂成海さんの立体作品が佳作に選ばれました ✨

作品タイトル『**Flanbè (フランベ)**』

フランベは、調理方法の一つで、今回の作品は実際のフライパンを活用しながら、流木にワイヤーやラメを付けることで炎の動きやきらめきが表現されています。また、3、4ヶ月かけて丁寧に仕上げられ、正面からだけでなくどの角度から見ても綺麗な作品になっています。



**近畿高校総文祭 美術・工芸部門**には2年の永井千恵さん、伏見遥花さんの作品が選ばれました ✨

永井さんは立体の部で出品。作品タイトルは『**ともだち**』で、友達をモデルにし石膏粘土で顔を、新聞紙と段ボールを使い体を作り、2つが合わさった人面犬の作品になっています。

伏見さんは平面の部で出品。作品タイトルは『**牡丹**』で、写真を見ながら1年かけて細部まで丁寧に描かれた黄色の牡丹の作品になっています。